

≪鴨川地区≫

■日程 11月18日(木)

■場所 鴨川市役所4階大会議室

	質問(要旨)	回答者	回答(要旨)
1	【アワーズと市の認定こども園の充足率について】 アワーズと比較して、市の認定こども園の充足率が非常に低い。事前質問⑩の回答では、ニーズに沿った運用をするとあるが、アワーズが定員を超えているのあれば、市の認定こども園でもアワーズと同様の対応を検討してはどうか。	子ども支援課長	アワーズの園児は、定員390名に対し、今年11月1日現在で343名となっています。0・1歳児は、育児休業等の関係から希望者が継続的に出てきているものの、保育士が不足していることから受入れが難しくなっています。保護者の希望に応えられるよう、人員の確保に努力していきます。
2	【市の貯金が減った理由、ナラ枯れ対策について】 ①資料にある年度末財政調整基金(市の貯金)の残高について。平成25年から約5年間で30億ほどあったものが7億になったことの大きな原因は何か。 ②ナラ枯れに関し、不在地主の山林については、所有者と調整し、担い手に整備を委ねるなどの踏み込んだ対応をしなければ、変化は望めないのではないか。伐採だけでなく植林も含めた対策を期待するが、市の考えを聞かせてほしい。	財政課長 農林水産課長	①平成17年の鴨川市・天津小湊町の合併に伴い、地方交付税が毎年度5億円強、増額して交付されていましたが、平成27年度以降は縮小し、令和元年度に終了しました。そのほか、東日本大震災に端を発し、公共施設の耐震化や大規模改修を重点的に実施してきたことも要因として挙げられます。財政調整基金残高は、今後必要となる公共施設への投資などを考えると非常に心もとないため、危機感を持って一層の改革を進めていきます。 ②ナラ枯れ対策については、国道128号沿道では倒木の危険があり、交通量も多く、早急に対応する必要があることから、道路管理者である県の安房土木事務所が年内にも伐採を実施することになっています。民有林では、所有者との協議がまとも次第、市で危険木の伐採を行っていきます。森林の整備については、早期に実施する区域として、曾呂・鴨川・大山地区を抽出しており、本年は曾呂地区の所有者に対して意向調査を実施しました。森林管理の依頼があれば、関係者の合意のもと、補助事業等も活用しながら適正管理に努めていきます。
3	【前原海岸の海の家、スケボーの練習ができる場所、壁アートについて】 ①海の家が資材を遊歩道に広げたり、階段の上に設置していたため、市民は迷惑していた。この問題をぜひ知っていただきたい。 ②海岸のバイク乗り入れ禁止の看板にはスケートボードも禁止と書いてあった。地元の中高生がスケートボードを練習できるような場所を作ってほしい。 ③ウォールアートがきっかけとなって落書きが増えてしまう事例がある。フィッシャリーナでも、ブルーモンスターの横に描かれた落書きを消す作業が実際に起こっている。海岸を利用している人たちから意見を集め、慎重に行ってほしい。	商工観光課長	①市でも問題は承知しており、海の家を設置を許可している県に状況を伝えたほか、海を家の組合に対しても申入れを行いました。 ②砂浜のバイクの進入については、海岸管理者である県に依頼して看板を立てていただきましたが、スケートボード禁止の経緯については承知しておりません。スケートボードのできる場所については、今後、市民会館周辺のランドデザインを策定する予定になっていますので、ご意見として伺います。 ③ブルーモンスターは、青年会議所の取組としてアーティストが制作したものです。落書きの防止については、市でもさまざまな形で指導していきます。なお、鴨川観光プラットフォームと鴨川市観光協会では、海岸近辺を綺麗にしようと、護岸などにアートを描く取組を進めています。新たな観光資源にしようとするものですが、美化にも配慮していきます。

	質問(要旨)	回答者	回答(要旨)
4	<p>【メガソーラーの規制について】 事前質問⑭の回答で、市が直接規制を設けることはできないとのことだが、国では、全国一律の法規制をするのではなく、自治体ごとの事情に合った条例の制定を推奨すると言っている。今後の市の対策を改めてお訊ねしたい。</p>	環境課長	市独自の条例を整備する場合は、目的や効果、規制の内容と影響等を十分に検討することが必要です。メガソーラーについては、新たに環境アセスメントの対象となるなど、一定の規制があります。自治体の事情に合った条例については、将来的に検討すべき課題と認識しています。
5	<p>【津波避難場所、市民会館の進捗について】 ①鴨川小学校や鴨川幼稚園、鴨川保育園の避難場所について、避難訓練等は校舎の屋上や亀田医療大学で実施しているとのことだが、川沿いの細い道路などを通らなければならない。女川では、実際には38mの津波が来たと聞いたので、考え直していただきたい。 ②平成31年に市民会館が休止となり、約3年経とうとしている。市民会館の整備について検討を進めていくとのことだが、どのようにしていくのか伺いたい。</p>	<p>危機管理課長</p> <p>経営企画部長</p>	<p>①南海トラフ地震が30年以内に70～80%の確率で起きるのではないかとされており、この地震による津波の高さは、鴨川市の場合で6m～8mとされています。元禄地震の最大津波は8mですが、本市の防災マップでは、県の津波浸水予測図(10m)を引用して表示しています。津波が発生したときは、できるだけ早く、高い場所に避難することが重要なので、津波避難ビルなど、避難先を日頃から確認していただくようお願いします。津波避難訓練は学校などで定期的実施しています。自身の命は自身で守っていただくことが重要です。ご希望に応じて、地域に出向いて講習等も行います。</p> <p>②市民会館の整備については、令和2年度に文化芸術関係の皆様を中心に1万2千人以上の署名を添えた要望書等をいただきました。市長の施政方針で、この整備に道筋をつけることを掲げています。具体的な時期等は明言はできませんが、庁内で基本方針やスケジュールなどの検討を行ってまいります。</p>
6	<p>【LINEの登録者、今後の活用方法について】 鴨川市公式LINEの登録者数は約1,600人で、まだまだ少ない。今後どのように増やしていく予定なのか。また、今後の活用方法を伺いたい。</p>	経営企画課主幹	LINEの登録申請を増やすためには、皆さんに役立つ情報を発信していくことが必要と考えています。受信情報を選択できる「受信設定」という機能を追加しましたので、さらなる情報発信を進めていきます。
7	<p>【福祉ムーバーについて】 事前質問⑯の回答で、福祉ムーバーの導入は難しいとのことだが、それでは免許を返納した人たちはどういう交通機関を頼っていけばよいのか。市ではどういう交通システムを考えているのか教えてほしい。</p>	まちづくり推進課長	今年度中に地域公共交通計画を策定する予定であり、持続可能な公共交通を目指し、現在、バス路線の見直しのほか、タクシーの活用など有効な代替手段を検討しています。
<p>【市長総括】 市民の皆様がこのまちの主演であり、皆さん方の声にしっかりと耳を傾けながら、市政を運営していきます。さまざまなご意見、ご要望をいただきましたが、市民の命、暮らしに直結するものを中心に、市、県、国が一緒になって取り組んでいきます。</p>			